

日本ハンドボール協会アンチ・ドーピング 特別委員会による学連（学生連盟）

1部所属大学生 923 名（男 595 名、女 328 名）へのアンケートからの抜粋
※数字はすべて「はい」または「知っている」と答えた人の割合

- | | | | |
|------------------------------------|----------------------|--------------------------------|------------------------------|
| ●サプリメント成分内の禁止薬物を確認しますか？ | 男子代表経験なし 19.3% | 漢方薬内の禁止薬剤を確認しますか？ | 男子代表経験なし 20.1% |
| 男子代表経験あり 27.5% | 男子代表経験あり 17.5% | 女子代表経験なし 19.1% | 女子代表経験あり 29.5% |
| 女子代表経験なし 29.0% | 女子代表経験あり 40.0% | ●栄養ドリンクを使用しますか？ | 男子代表経験なし 65.7% |
| 女子代表経験あり 38.6% | 男子代表経験あり 62.5% | 男子代表経験なし 61.4% | 女子代表経験あり 72.7% |
| 男子代表経験あり 35.8% | 女子代表経験なし 47.8% | ●栄養ドリンク内の禁止薬剤を確認しますか？ | (先の質問で“はい”的人 545名) |
| 女子代表経験あり 57.4% | 女子代表経験あり 57.4% | 男子代表経験なし (117/329) 35.6% | 男子代表経験あり (11/24) 45.8% |
| ●薬の購入時、受診時にドーピング検査の可能性があることを伝えますか？ | 男子代表経験なし 40.0% | 女子代表経験なし (64/160) 40.0% | 女子代表経験あり (17/32) 53.1% |
| 男子代表経験あり 58.5% | 女子代表経験なし 38.3% | | |
| 女子代表経験あり 64.4% | 女子代表経験あり 64.4% | | |
| ●漢方薬を使用しますか？ | 男子代表経験なし 6.5% | | |
| 男子代表経験あり 10% | | | |
| 女子代表経験なし 10.9% | | | |
| 女子代表経験あり 4.5% | | | |

例年、全日本インカレでもドーピング検査が実施されている。これは、代表選手クラスでなくともドーピング検査を受ける可能性があることを意味する。

中高生ハンドボール界でも、生活のさまざまな場面で登場するサプリメントや、病気の時には欠かせない薬、漢方薬にも禁止薬物の危険性があるということを知つておくことから、まずは意識してみよう。

使いやすいと思います。チームで1冊持っているようにしてください（毎年禁止物質は1月1日に更新されるので、それに合わせる必要はあります）。

選手の所属するチームは大会会場までの長距離をバス移動でした。移動中にもともと持病で

ケース2
元日本代表選手 現在はクニ
チームの選手兼監督 男性

さいしていなかつた
という競技者としてとるべき手
段に充分な注意が払われていない
という事情を含めて考え、『カ
月間の資格停止が相当』と判断
されるに至りました。

しする予定です)。

今回のケースでは、

- ・検出された禁物質があくまでも治療目的で使用されたものであり、競技力向上のためには用いられないものではない
- ・医師の処方に基づく使用であつた
- しかし、
- ・検査があることを伝えていなかつた
- ・禁止物質であるかの確認をいつた

**Point
2**

JADAの検索はなぜ
ヒットしなかったのか？

**Point
2**

JADAの検索はなぜ
ヒットしなかったのか？

しかし、禁止物質としてヒットしなかつた（メチルエフエドリンであればヒットします）ため、同市販薬を試合前日に服用。試合後の競技会検査の対象となり、禁止物質が検出されるに至りました。

3カ月の資格停止

JADAの検索はなぜヒットしなかったのか？

す。薬の名前というのは、みなさんが知っている名前は“商品名”でしかありません。その薬の主たる成分は今回であれば“メチルエフエドリン”という“一般名”で表されます。商品名と一般名は違うのです。

そして、JADAなどのウェブサイトでも表示されるのは一般名のみです。この一般名は非常に覚えにくく、今回のように“d-1”、“塩酸”というようによらずつ付け加えられるものがあり、どれが大事な成分なのかがみなさんは非常にわかりにくいのではないでしょうか。医療従事者であっても、時に迷うことがあるぐらいです。

ですから、前述した薬剤師会発行のものを持ち歩くことは大事と言えます。

んありますし（使用可能なサプリメントの表示、検査手順など）、一度自分で薬剤の検索をしてみるようにしてください。”日本アンチドーピング機構”と検索すれば必ず出てきます。

このケースは、興奮剤であるエフエドリンが検出された事例ですが、日頃の選手のドーピング防止への意識が認められ、3カ月とう極めて寛大な処分だったと言えます。

ですが、彼は結局自身の集大成と位置づけていた大会への出場がならず、“何気ない”“ちょっとした”“まあ大丈夫だろう”というほんのわずかの心のスキが、“大好きなハンドボールを取り上げる”結果につながつてしましました。われわれとしても、みなさんを

| Point 1 | えつ！ 市販の風邪薬で 違反になるの？ |
|---|------------------------|
| このケースにも、いくつか覚え ておいてもらいたい大切なボイン トがあります。 この点が一番びっくりされたの ではないでしょうか。前述のアン ケートにおいて、市販薬の中に 禁止物質が入っていることを確認 しますか？の質問に対して、約 50%の方が確認しないと答えて います。その理由として、”そんな こと考えたこともない”市販の薬 に危ないものが入っているわけな い”面倒だ”といった意見が大半 を占めました。 極めて危険な考え方です。 じつは市販の風邪薬には、禁止 物質を含む製品がかなり多く存在 しているのです。とくに”滋養強 壮””せき止め”といった言葉の 成分の多くは、禁止物質であると いうように考へてもらってよいで す。 風邪薬には、原因菌を殺す働き よりも本に力をつける成分の薬剤 | |

が多くの含まれています。体を強くする成分、それはつまり“ドーピング違反”である、ということはみなさんも想像しやすいことだと思います。

今回のケースと同じように、緊急的に薬を必要とすることもあるでしょう。また、チームとして常備薬を準備することもあるでしょう。しかし、薬局にいる店員がすべて薬剤師であるとは限りません。

また、薬剤師も多くはドーピングへの意識が高いとは言えません。医師と同様に、日本アンチドーピング機構認定スポーツファーマシスト（薬剤師）という制度も開始されました。ぜひ相談して購入するようにしてください。

また、その年の国民体育大会（国体）開催地の薬剤師会が、“薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック”を毎年作成してくれています。インターネットからダウンロードできますし、使用してよい市販薬、処方薬の商品名が具体的に記載されていますので、とっても

**Point
1**

えっ！ 市販の風邪薬で
違反になるの？

が多く含まれています。体を強くする成分、それはつまり「ドーピング違反」である、ということはみなさんも想像しやすいことだと思います。